

2017年12月8日

SUBARU 6車種が米国IIHSの2018年安全評価で 「トップセイフティピック(TSP)」を獲得

- アイサイトを装着した2018年型インプレッサ、SUBARU XV、レガシィ、アウトバック、フォレスター、WRXが米国IIHSの2018年安全評価でTSPを受賞

このたび、北米地区で現在販売しているSUBARUの2018年型インプレッサ、SUBARU XV*¹、レガシィ、アウトバック、フォレスター、WRX(いずれもアイサイト装着車)が、IIHS*²(道路安全保険協会)が行う最新の2018年の安全性評価において、「トップセイフティピック」を獲得しました。これら6車種は、要求される全ての耐衝撃性能試験において最高評価「Good」を、前面衝突予防性能試験においても最高評価「Superior」を獲得。さらに、2017年評価から導入されたヘッドライト性能試験においてもインプレッサ、レガシィ、アウトバック、WRXが「Good」を、SUBARU XVとフォレスターが「Acceptable」を獲得しました。

TSPを受賞するには前・側・後面・スモールオーバーラップ衝突、ロールオーバー(車両転覆)耐衝撃性能試験すべてにおいて最良の乗客保護性能を持ち合わせた車として最高の「Good」を獲得するとともに、前面衝突予防評価において「Superior」または「Advanced」を獲得することが要求されます。

*1: 北米市場名 クロストレック

*2: Insurance Institute for Highway Safety (米国保険業界の非営利団体)



2018年型 インプレッサ (米国仕様)



2018年型 SUBARU XV (米国仕様・北米市場名クロストレック)